

マイスター アレイ・ドーマー作 “芸術的宝石” ドイツ博物館展示品が登場

博物館の“ミュージアムピース”を中心に約200点(購入も可能)の展示です



1986年作 エデンの園のアダムとイブ
230×220×85mm

カメオとは？

輝石・半輝石に浮き彫りに彫刻されている作品をカメオと呼びます。貝のような柔らかな素材を使用したものは、シェルカメオと呼ばれています。ここでは、カメオと呼ばれる輝石・半輝石に彫刻した作品のご説明を致します。

市場で御覧いただける、カメオの殆どには、原型があります。これらの原型は、半輝石を使用して彫ったものとは、限りません。また残念ながらその殆どは、見る事が出来ません。原型は、コンピューターによるデータ読みとして使用され、コンピューター制御の自動研磨機がそのデータによってカメオを半輝石の上に製作しています。一度データが作成されれば、いくらでも生産は、可能になります。



1987年作
鉄の矢を造るヘーベイスと
アフロディテ
232×180×45mm

アレイ・ドーマーのカメオは、
世界でひとつ！
だからドイツ年公式行事出展
作家に選出されました。
原型だけを輝石・半輝石に
制作し続けているマイスターは、
彼だけです。

彼の技法は、イーダ・オーバシュタインで、500数十年続く手工芸彫刻技術であります。近代の工法は、2000年以上の間、基本的には、同じ方法で彫刻されていると言われています。工法的には、動力が手や足、水車の力から電気へと変わっただけです。

「素材・原石自身の力を、
私は引き出すだけです。
全ては、石の中に彫刻する題材は、
息づいています。」

と、アレイ・ドーマー氏は語ります。
ほんの少しシャイな彼ですが、石を選ぶ時は、頑固なマイスターに変身しています。



1989年作
チェリー
115×130×40mm



1982年作
ラビテース族と戦うケンタウロス
175×140×30mm



1983年作
酒の神バックスと酒を飲む婦人
160mm round



1984年作
海的神ネプチューンと馬たち
160mm round



1984年作
ラオコーン
85×62mm



1990年作
マヤ
111×70mm



1983年作
半漁人とトリトンにかかえられる
アフロディテ
190×163×63mm



1985年作
聖セバスティアヌス
166×70mm



1987年作
ダイアナ
98×75mm



1982年作
パリスの裁き
240×180×55mm



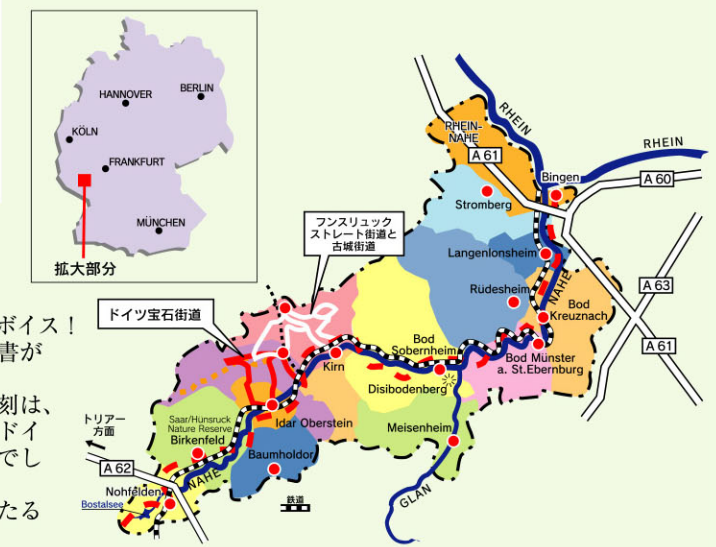
1985年作
貝の船に乗るヴィーナス
168×114×35mm

歴史は、 未来に創造できない。

近年発見された古文書は、
15世紀のマイスターが記したインボイス！
納品書と請求書が一緒になった文書が
発見されました。
紀元を越え継承されてきた宝石彫刻は、
伝統工芸の技術として、いまここドイツの
イーダ・オーバシュタイン市でしか残っていません。
世紀を超えたカメオ彫刻がその最たる
ものであります。

イーダ・オーバシュタイン市は、どこ？

フランクフルト空港から車で1時間ちょっと、またライン川からでも30分程の、ワインでも有名な産地ナッヘ河の畔にあります。宝石彫刻500数十年の歴史をもつイーダ・オーバシュタイン市、河のほとりに位置している関係もあって水力を得ることが出来、宝石研磨にも役立ったのです。



他、多数展示致しております



ストーンカメオには、手彫りと機械彫りがあります。一般に普及しているのは、99%機械彫りです。なぜなら、手彫りは製作するのに非常に時間がかかります。一人の作家が年間製作できるのは、30点から40点たらずです。一方機械彫りは1点製作するのに1時間も有しません。

